

学位論文審査基準

児童学研究科 学位論文審査基準

博士前期課程

1. 論文のテーマが学術的背景を踏まえており、研究の問いが明確に表現されている。
2. 研究方法がテーマにふさわしいものであり、分析方法が適切である。
3. 結果の解釈が適切で、論理的に一貫している。
4. 引用文献や資料の取り扱いについては研究倫理が遵守されており、また、調査や実験などの場合は本学の倫理審査委員会の承認を経ている。

博士後期課程

1. 主題の選択、ならびに研究方法の選択が先行研究を踏まえて行われていて、学界において一定の評価を得ている。
2. 選択した主題と研究方法に従って資料を的確に収集・処理している。
3. 既存の研究に独自の知見を加えており、独創的な内容を有している。
4. 引用文献や資料の取り扱いについては研究倫理が順守されており、また、調査や実験などの場合は本学の倫理審査委員会を経ている。

臨床心理学研究科 学位論文審査基準

博士前期課程

1. 論文テーマの的確性：論文のテーマが本文に即しており、学術的意義がその背景とともに明確に提示されているか。
2. 方法・分析の適切性：研究データ（情報）収集に関して、適切な方法が選択されており、データの整理・処理は適切にされているか。
3. 論文の構成：設定された理論的枠組みと方法に則って、一貫性のある論理で論文全体が構成されているか。
4. 独創性：論文の成果が当該学問領域の研究業績、知見における独創性が認められ、広く学術的に共有されるような一般的、普遍性をもった知見を提供しているか。
5. 論文の体裁：言語の扱いが適切であり、また表現や用語が論文にふさわしいレベルに達しているか。
6. 文献・研究倫理：文献・資料の引用は、学位論文として適切な形式であり、かつ引用文献の明示や参考文献等に対する言及など研究倫理が遵守されているか。

博士後期課程

1. 論文のテーマ

研究の学術的・社会的意義及び貢献が、明確に意識され、表現されているか。

2. 研究の方法

テーマ及び問題設定にふさわしい研究方法が選択されていて、資料・データの取り扱い、分析結果の解釈は妥当であるか。

3. 論文の構成

テーマに沿って問題が適切に設定され、それを受けて一貫した論述が展開され、的確に結論が導かれているか。

4. 独創性

問題設定、研究方法、結論等に独創性が認められ、臨床心理学界への貢献が評価されるか。

5. 文献・研究倫理の遵守

先行研究・関連研究について幅広く精査し、的確に理解されているか。また引用文献・参考文献等の取り扱いは過不足なく、研究倫理も遵守されているか。

言語文化研究科 学位論文審査基準

博士前期課程

1. テーマの設定に学術的必然性がある。

2. 研究方法が合目的的である。

3. 資料の分析、データの解釈が適切である。

4. 論理に破綻がなく、論文の構成・記述も適切である。

5. 斬新性・独創性を認めることができる。

6. 言語文化の領域において、社会に貢献できる高度な専門的知識・識見を有すること、ないし研究を深化・発展させる能力を有することが、研究の成果によって証明できる。

博士後期課程

1. テーマの設定に学術的必然性がある。

2. 研究方法が合目的的である。

3. 資料の分析、データの解釈が適切である。

4. 論理に破綻がなく、論文の構成・記述も適切である。

5. 斬新性・独創性に富んでいること。

6. 自立した研究者として、言語文化の領域に関する研究ないし専門的職務に大きく貢献できる高度な能力を、現在の研究水準を超える研究成果をもって証明することができる。

人間栄養学研究科 学位論文審査基準

博士前期課程

修士論文および口頭発表の審査ならびに口頭試問を行う。

修士論文においては、主要な研究成果が学会等において公表されていることを前提に、以下の項目について審査を行う。

1. 研究の目的は、十分に理解されているか
2. 研究計画や研究方法についての理解と十分な吟味がなされているか
3. 実験データや調査結果についての整理と解析は、十分になされているか
4. 仮説や結論の展開は、得られた結果に基づき十分になされているか
5. 引用文献は適切であるか

博士後期課程

博士論文および口頭発表の審査ならびに口頭試問を行う。

博士論文においては、主要な研究成果が学術雑誌(紀要を除く)において 2 報以上の原著論文として公表されていることを前提に、以下の項目について審査を行う。

1. 研究の目的は、合理的で創造性があるものか
2. 研究方法は、研究目的の実現に適した合理的かつ十分なものであるか
3. 実験データや調査結果についての整理と解析は、十分になされているか
4. 仮説や結論の展開は、得られた結果に基づき十分になされているか
5. 得られた研究成果は、学術上および応用面で貢献するものであるか
6. 引用文献は適切であるか

看護学研究科 学位論文審査基準

修士課程

1. 表題の明確性と内容の一貫性
2. 研究目的の明確性
3. 研究の意義・着眼点
4. 倫理的配慮を含む研究方法の適切性(目的との関連)
5. データ収集・分析の適切性
6. 結果の提示の十分性
7. 考察の妥当性(結果をもとに考察し、論理の矛盾や飛躍がないか)
8. 論旨の一貫性
9. 図表の不備・不足ないしは不要の有無
10. 文献の偏り及び不備の有無
11. 研究の独自性、独創性
12. 看護学への貢献及び看護実践現場への貢献

音楽文化研究科 学位論文審査基準

博士前期課程

1. テーマの設定は適切か。

音楽表現専攻にあっては、社会の音楽的環境の変化、音楽への要求に対応し、より広い領域を視野に収めた音楽家としてふさわしい問題意識をもっているか。

音楽教育専攻にあっては、文化を背景にした音楽の効用を考慮し、学校教育、あるいは音楽研究における今日的課題や生涯学習の意義目的を反映した問題設定となっているか。

2. 先行研究が適切に理解され、整理されているか。

3. テーマにふさわしい方法論が選択されているか。

4. 論文の構成が、そのテーマの解明のために妥当なものであるか。

5. 論理的な論述が展開されているか。

6. 引用の方法や譜例・図表等の提示が適切で、論文としての体裁が整っているか。

7. テーマに沿った結論が導かれているか。

博士後期課程

1. 先行研究の十分な理解の上に独創的なテーマが設定され、かつ、それが音楽表現者、あるいは音楽教育者、音楽研究者の視点から適切であるか。

2. テーマにふさわしい方法論が選択されているか。

3. 文献の読解や楽譜の分析が正確で、解釈が妥当であるか。

4. 論文の構成が、そのテーマの解明のために妥当なものであるか。

5. 論理的で説得力のある論述が展開されているか。

6. 引用の方法や譜例・図表等の提示が適切かつ効果的で、論文としての体裁が整っているか。

7. テーマに沿った結論が論理的に導かれ、かつそれが独創性を有し学術的に意義のあるものであるか。

8. 専攻分野における学術の未来を予見する思考が見られるか。